

平成30年度 第2回 多摩中央警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年10月16日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 8名

内容

会議に先立ち、副署長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、交通課長、地域課長、会計課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成30年度第1回会議において出された「夏祭りなどのイベントに地域警察官が参加してほしい。」旨の要望については、夏祭りなどの警戒警備を行った旨を説明した。
「子どもの通学時間帯に自転車でパトロールしてほしい。」旨の要望については、パトカー、バイク、自転車で警戒活動を実施している旨を説明した。
「犯罪予防のアドバイスなど、『何でも相談コーナー』のようなものを開設してほしい。」旨の要望については、地域安全センター、交番、駐在所で、近隣住民の困りごとを聞き、地域安全のための助言や犯罪の予防等を行っている旨を説明した。
「市役所が行なっている、夕方の見守り一斉放送に「多摩中央警察署」という文言を入れてほしい。」旨の要望については、現状維持が妥当である旨を説明した。
「警察を身近な存在にするために、管内の学校等において、交番の警察官を紹介してほしい。」旨の要望については、交番の警察官を紹介することは難しい旨を説明した。
「交番や駐在所等の場所が、子どもにも分かりやすい「交番・駐在所マップ」を作って、学校等に配布してほしい。」旨の要望については、多摩市、稲城市の交番マップを作成したので、近日中に、学校に配布する旨を説明した。
「多摩市関戸6-23にある旧鎌倉街道の変則の四差路が、子どもが横断する際、とても危険なので歩行者専用信号機を設置してほしい。」旨の要望については、押しボタン式信号機を設置上申を行い、来年度、発注・設置予定である旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
東京2020オリンピック競技大会自転車ロードレースに伴う交通対策について
 - ・ 自転車ロードレース実施日時・コース等説明
 - ・ 交通規制について
 - ・ 交通対策について
 などについて説明した上で、自転車ロードレースに伴う交通対策について、意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
交通規制により、緊急車両が入れない孤立地域ができることから、火事や急病人が出た場合の統一ルールを作ってほしい。
本番と同じ時間帯の交通量を調査し、本番当日の予想交通量取り入れたシミュレーションしてほしい。
コース沿道に交通規制情報が書かれた立て看板を設置するなどの、地域住民に対する情報提供をしてほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「お寺に檀家さんが集まる機会があるので、警察の方に来てもらい、特殊詐欺の被害について防犯講話を行ってほしい。」との要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 平成30年06月20日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 多摩中央警察署 講堂
出席者 協議会委員 5名
署長ほか 9名

内 容

会議に先立ち、副署長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、交通課長、警備課長、地域課長、会計課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 取締り活動ガイドラインの見直しについて
管内の交通事情の変化や交通事故発生状況等を踏まえ、現行の取締り活動ガイドラインを見直し、新たに策定する旨について説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
平成29年度第4回会議において出された「要点を絞ったわかりやすいチラシを作成してほしい。」旨の要望については、本部の採用センターとの調整の上、作成準備中である旨を説明した。
「高校や大学の採用コーナーに、採用パンフレットを置いてほしい。」旨の要望については、大学や高校に向いて採用説明会を行っており、その機会を利用して、就職コーナーに、警視庁採用パンフレットを置いてもらえるように依頼していく旨を説明した。
「地域で行なわれる少年柔道・剣道等の大会や昇段審査会場で採用パンフレットを配布してほしい。」旨の要望については、多摩市少年柔道大会や多摩市春季剣道大会で採用パンフレットやチラシ等を配布した旨を説明した。
「警察署独自の採用イベントや見学会を実施してほしい。」旨の要望については、高校生や大学生を対象としたインターンシップの実施や、地域のお祭り等のイベントにあわせた採用イベントの実施、職場体験学習などを随時行う旨を説明した。
「地域に根ざしたパトロール等を通じて、採用活動してほしい。」旨の要望については、パトロール時や交番等への来所者に対し採用活動を積極的に行う旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
地域警察官の地域活動の現状について
地域警察官の活動内容について
 - ・ 交番やパトカー等の活動内容
 - ・ 検挙事例紹介
 - ・ 術科訓練紹介
 - ・ 特殊な能力や経歴を持つ地域警察官紹介
 などについて説明した上で、今後の地域警察官の地域活動の取組のあり方等について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
夏祭りなどのイベントに地域警察官が参加してほしい。
小さな子供が犯罪に巻き込まれないように、通学時間帯に自転車でパトロールしてほしい。
地域安全センター、交番、駐在所などで、犯罪予防のアドバイスなど、「何でも相談コーナー」のようなものを開設してほしい。
市役所が行なっている、夕方の見守り一斉放送に「多摩中央警察署」という文言を入れてほしい。
警察を身近な存在にするため、管内の学校等に交番の警察官を紹介してほしい。
交番や駐在所等の場所がわかりにくいので、子供にもわかりやすい「交番・駐在所マップ」を作って、学校等に配布してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「駅周辺に子供たちが集まっているのをよく見かけるので、非行防止対策として、駅周辺のパトロールをして子供たちに声を掛けてほしい。」との要望があった。
- 2 委員から「多摩市関戸6-23にある旧鎌倉街道の変則の四差路が、子供たちが横断する際、とても危険なので歩行者専用信号機を設置してほしい。」との要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 多摩中央警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月14日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 1階会議室
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 9名

内容

会議に先立ち、副署長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、交通課長、警備課長、地域課長、会計課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
管内の治安情勢、特殊詐欺発生状況等について説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
平成29年度第3回会議において出された
「電話に出ない対策をより推進するため、老人会や民生委員やヘルパーに対し、積極的に働き掛けしていただきたい。また、自動通話録音機について高齢者にもっとPRしてほしい。」旨の要望については、当署の犯罪抑止係員が老人クラブの定例会や老人ホーム等を訪問して、防犯講話を実施して注意喚起している旨を説明するとともに、多摩市・稲城市と連携して自動通話録音機を希望者宅に設置していく旨を説明した。
「特殊詐欺の被害者になる可能性が高い高齢者世代の子供の世代に対し、特殊詐欺の現状や対策について説明してほしい。」旨の要望については、警視庁ホームページ内の「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」についてや警視庁本部作成のDVDを紹介し、高齢者の子供や孫世代に対して特殊詐欺の現状について説明して注意喚起していく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
警視庁警察官採用業務の現状と取組等について
 - ・ 警視庁警察官採用情勢等について
 - ・ 当署における警視庁警察官採用の取り組みについて
 などについて説明した上で、更なる警視庁警察官採用業務の効果的な推進について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
多くの人に興味を持ってもらえるように、要点を絞ったわかりやすいチラシや、子供向けのチラシを作って、幅広い場所で配布してほしい。
高校や大学の採用コーナーに、採用パンフレット置いてほしい。
地域で行われる少年柔道・剣道等の大会や昇段審査の会場において、採用パンフレットを配布してほしい。
警察署独自の採用イベントや見学会を開催してほしい。
地域に根ざしたパトロールを通じて、地域住民とコミュニケーションをとって、採用につなげてほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「引き続き多摩市・稲城市内の特殊詐欺の発生防止に努力してほしい。」との要望があった。
- 2 委員から「交番や駐在所の警察官によるパトロールを通じて、地域住民とのふれあいを増やしてほしい。」との要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 多摩中央警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年01月12日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 会議室
出席者 協議会委員 5名
署長ほか 7名

内容

会議に先立ち、副署長、交通課長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
管内の治安情勢、特殊詐欺発生状況、交通事故発生状況、災害警備訓練の実施結果等について説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
平成29年度第2回会議において出された「高齢者の交通安全教育の機会や反射材の配付を増やしてほしい。」旨の要望については、老人会等の高齢者が集まる場所に出向いての「交通安全講習会」を反射材の普及促進と併せて、随時行なっている旨を説明した。
「高齢者自身が、反射神経や運転能力が把握できるような取組みを実施してほしい。」旨の要望については、『運転時認知障害早期発見チェックリスト30』を福祉センター等に掲出したり、講習会において活用するとともに、反射神経を簡単にチェックできる『にぎるくん』も同様に活用し、高齢者の方に大変好評である旨を説明した。
「実際に発生した事故の事例について話をしてほしい。」旨の要望については、具体的な事故状況が記載されたチラシを、事故直後に発出するとともに、事故の映像を用いた視覚に訴える安全教育を取り入れていく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
特殊詐欺の現状と対策について
特殊詐欺の発生状況等について
当署における特殊詐欺対策について
などについて説明した上で、特殊詐欺対策の効果的な対策について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
警察署の特殊詐欺に対する取組みについてよく理解できた。今後は、電話に出ない対策をより推進するため、老人会や民生委員やヘルパーに対し、積極的に働き掛けしていただきたい。また、自動録音装置について高齢者にもっとPRしてほしい。
特殊詐欺の被害者になる高齢者世代の子供の世代に対し、特殊詐欺の現状や対策について説明してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「反射神経測定器の「にぎるくん」を役所の待合室や老人クラブに置いてはいかがか。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

開催日時 平成29年10月11日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 講堂 出席者 協議会委員 7名
署長ほか 8名

内 容

会議に先立ち、副署長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、地域課長、交通課長、生活安全課長代理の出席について各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「小・中・高・大学生に対してテロ等に関する講演会を実施してほしい。」との答申を受け、当署の見学に訪れた小中高校生に対し、防災講話と合わせて、テロ対策について講演を行った。また、管内の大学において、テロ対策の講話を行った。
- 2 「パートナーシップに関するチラシを広く配付してほしい。」との答申を受け、8月30日から9月5日までの間、当署受付前にテロ対策コーナーを設置し、テロ対策ポスターの掲示やカレンダー等の配布を行った。
- 3 「テロ対策ポスターを小学校の校舎に貼ってほしい。」との要望を受け、管内の小学校を順次訪問し、テロ対策ポスターの配布と掲示を依頼中である。
- 4 「パートナーシップについて周知を図るため、街頭活動でアピールしてほしい。」との要望を受け、交通課や生活安全課の交通事故防止キャンペーン、防犯活動の際に、テロ関連のチラシ等の配布やパレードを行い、広くパートナーシップ強化に向けた啓発活動を実施した。
- 5 「多摩版のテロ対策パンフレットを作り、配付してほしい。」との要望を受けたが、多摩地区に限って特定の団体や施設を取り上げることは難しいことから、一般的なテロ対策における注意点や不審者発見のポイント等について、本部で作成したテロ対策マニュアルを管内企業や官公庁に広く配布した。

[業務報告]

- 1 前回会議以降の「交通事故情勢」、「防災訓練実施状況」、「振り込め詐欺事件の犯人検挙について」、「地域警察活動について」等について報告した。
- 2 駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて
署長から当署管内の交通取締重点交差点、及び取締重点場所について説明した。

[諮問]

高年齢者の交通事故防止対策について

[答申]

- 1 高年齢者に対し自治会等と協力して交通安全教育の機会を増やしてほしい。
- 2 交番において高年齢者に対する反射材の配付を続けてほしい。
- 3 自転車販売所で安全指導や反射材の配付をしてほしい。
- 4 横断歩道がない道路に「渡らないで」という注意喚起の横断幕を設置したり、道路幅が長い道路には、横断可能時間が表示される歩行者用信号機を設置してほしい。

[意見・要望等]

- 1 委員から、駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて「今回のガイドラインの見直しは、街の実態に即したものだと思う。」との意見があった。
- 2 委員から、「高年齢者自身が、自分の現在の反射神経や運転能力が把握できるようなアンケートを実施してほしい。」旨の要望があった。
- 3 委員から、「運転免許証返納者にはバスの運賃が無料になる等の、高年齢ドライバーが、運転免許証を返納しやすい環境づくりをしてほしい。」旨の要望があった。
- 4 委員から、「老人会や自治会で高年齢者を対象とした自転車の運転講習や実際に発生した事故の事例について話をしてほしい。」旨の要望があった。
- 5 委員から、「高年齢者講習後に、靴に貼る反射材やキーホルダー型の反射材を配付してほしい。」旨の要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

| 平成29年度 第1回 多摩中央警察署協議会 議事概要 | | | |
|---|---|-----|---------------------|
| 開催日時 | 平成29年06月19日 午後04時00分～午後05時00分 | | |
| 開催場所 | 多摩中央警察署 1階会議室 | 出席者 | 協議会委員 8名 署長ほか 8名 |
| 内 容 | | | |
| <p>会議に先立ち、副署長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。また、会長・副会長の互選をした。</p> <p>[前回の答申等に対する警察署の取組結果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 銀行や役所にチラシを設置する。 2 地域の回覧板や市の広報誌、ゴミ収集カレンダーに載せ告知する。 3 地域ケーブルテレビでCMを放送する。 4 車両に 9110のPRをマグネットで貼り市民に告知する。 5 春の交通安全運動等の各種活動時に広報活動を行う。 6 小、中学校の児童や生徒に 9110について説明する。 <p>の6点の答申及び各委員からの意見・要望に対する取組結果の報告</p> <p>[業務報告] 前回会議以降の各課における業務推進状況について報告</p> <p>[諮問] 「テロを起こさせない街づくり」について</p> <p>[答申]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 反社会的な集団の把握と監視体制の強化をしてほしい。 2 小・中・高・大学生に対してテロ等に関する講演会を実施してほしい。 3 パートナーシップに関するチラシを広く配付してほしい。 <p>[意見・要望等]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「テロ対策ポスターを小学校の校舎に貼ってもらいたい。」との要望が出され、署長が「検討していきたい。」と答えた。 2 「パートナーシップについて周知を図るため、街頭活動でアピールしてほしい。」との要望が出され、署長が「検討していきたい。」と答えた。 3 「多摩版のテロ対策パンフレットを作り、配付してほしい。」との要望が出され、署長が「検討していきたい。」と答えた。 | | | |
| その他 | 次回（平成29年度第2回）の会議は、平成29年9月下旬に開催する予定となった。 | | |

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 多摩中央警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月23日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 多摩中央警察署講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 8名

内容

会議に先立ち、副署長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 振り込めチラシの文字数を減らし、趣旨に賛同する芸能人の写真や、大学生のイラストを載せるなど、シンプルでインパクトのあるチラシを作成し配布してほしい。
- 2 自動通話録音機が存在と有効性についてもっとPRしてほしい。
- 3 振り込め防止の広報車のスピードが速すぎて広報PRの内容が聞き取りづらいので改善してほしい。

の3点の答申及び各委員からの意見・要望に対する取組結果の報告

[業務報告]

前回会議以降の各課における業務推進状況について報告

[諮問]

- 1 110番通報の入電状況について

[答申]

警察相談ダイヤル「9110」の認知度を上げるための施策として

- 1 銀行や役所にチラシを設置する。
- 2 地域の回覧板や市の広報誌、ゴミ収集カレンダーに載せ告知する。
- 3 地域ケーブルテレビでCMを放送する。
- 4 車両に9110のPRをマグネットで貼り市民に告知する。
- 5 春の交通安全運動等の各種活動時に広報活動を行う。
- 6 小、中学校の児童や生徒に9110について説明する。

等の広報活動を行うことによって、少しでも緊急性が高い110番通報を優先して繋がるようにしてほしい。

[意見・要望等]

- 1 「自動通話録音機能付電話の故障が2回続いた。」との意見が出され、「保障期間中であれば交換できる。」旨を説明した。
- 2 「補導員の活動が、署や交番の警察官に知られていないので、周知を図っていただきたい。」との要望が出され、「署員に周知を図っていきたい。」と答えた。
- 3 「多摩中央警察署協議会委員として4年間の任期が終わり、交代する委員もいますが今後も地域の安全・安心のため協力していきますので、よろしくお願いいたします。」との意見が出され、「今後も引き続き協力願いたい。」と答えた。

その他

次回（平成29年度第1回）の会議は、平成29年6月16日に開催する予定となった。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 多摩中央警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年01月31日 午後02時00分～午後04時00分

開催場所 多摩中央警察署講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、副署長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長の出席について各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「市や警察や消防などの各公共機関の役割分担を明示したパンフレットを作成してほしい。」との答申を受け、市や警察や消防などの各公共機関の役割分担については、多摩市地域防災計画・稲城市地域防災計画に明示されていることから、主に警察にしかできない役割として大震災発生時における交通規制広報活動に関するリーフレットを作成し配付するとともに、電光掲示板を活用した震災広報活動や各種会合等における震災広報活動を実施しているところである。
- 2 「市内の災害危険箇所が、住民にわかるように、定期的に広報を実施してほしい。」との答申を受け、多摩市・稲城市のハザードマップに、多摩市・稲城市の災害危険箇所を随時更新、掲載し広報している。
- 3 「災害発生時に要救助者がどこにいるのか行政機関と住民で情報交換できるようにしてほしい。」との答申を受け、災害対策基本法に基づき、多摩市・稲城市と要支援者に関する情報を共有するとともに、大震災発生時において警察は、自治会・民生委員・社会福祉協議会等と連携し、要支援者の救出活動に従事することとしている。

[業務報告]

「高齢運転者の交通安全対策の広報・情報発信について」、「災害対策訓練の実施結果について」、「管内発生殺人事件の情報提供依頼について」、「地域警察活動について」等について報告した。

[諮問]

特殊詐欺の現状と対策について

[答申]

- 1 チラシの文字数を減らし、趣旨に賛同する芸能人の写真や、大学生のイラストを載せるなど、シンプルでインパクトのあるチラシを作成し配布してほしい。
- 2 自動通話録音機が存在と有効性についてもっとPRしてほしい。
- 3 広報車の広報PRの内容が聞き取りづらいので改善してほしい。

[意見・要望等]

- 1 「多摩郵便局前交差点のUターン禁止の規制を解除できないか。」との要望が出され、署長から「検討していきたい。」と答えた。
- 2 「ニュータウン通りの多摩中央警察署入口交差点に右折信号を付けていただけないか。」との要望が出され、署長から「検討していきたい。」と答えた。
- 3 「広報車による広報活動の結果、一般通行人の協力により特殊詐欺を未然に防いだ実績は素晴らしいので、今後も続けて欲しい。」との意見が出され、署長から「今後も広報活動を推進していくので、今後も引き続き皆様のご協力をいただきたい。」と答えた。

その他

次回（平成28年度第4回）の会議は、平成29年3月28日に開催予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。